

知って安心



あなたのくすりと健康



聞いて安心

第72号

- アナフィラキシーにおけるアドレナリン自己注射について…横浜市立大学附属病院薬剤部 若杉 正
- 誤嚥性（ごえんせい）肺炎と口腔ケア…けいゆう病院薬局 林 誠一
- 献血に影響する医薬品…川崎幸病院 薬剤科 勝亦 秀樹



薬剤師レジデントのメンバー

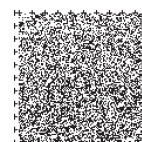
＜表紙写真＞ 一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院 薬剤部
薬剤師レジデント 桂 有沙、郡川 晶子、今江 賢史

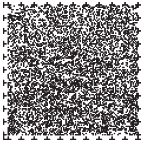
当院では、平成22年度より薬剤師レジデント制度を導入しています。レジデントは、病院薬剤師としての基本業務を習得すること、そしてチーム医療に参加し医療現場での薬学的解決能力を備えた薬剤師を育成することを目的としています。2年間のプログラムの中で、薬剤部基本業務、病棟業務の実践、さらに外来化学療法室、緩和ケア等のチーム医療や委員会活動にも参加します。また、各病棟終了時には、症例報告会での発表、さらにテーマを決めて学会発表も行います。薬剤師レジデントに興味のある方の見学も随時受け付けています。（向かって左側から、桂先生、今江先生、郡川先生です）

公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

2014年3月発行

音声コード





アナフィラキシーにおけるアドレナリン自己注射について

アナフィラキシーとは

アナフィラキシーとは、特定の物質がからだの中に入ることによって起こる全身の急性アレルギー反応のことです。蜂などの昆虫に刺される、食べもの(卵、牛乳、小麦、そば、ピーナッツなど)を食べる、くすり(抗生物質、解熱鎮痛剤、ワクチン、麻酔薬など)を飲む・注射することなどにより起こることがあります。

アナフィラキシーの症状は皮膚のかゆみ・皮膚が赤くなる・じん麻疹などの皮膚症状、喘鳴(呼吸がゼーゼー、ヒューヒューする)・息苦しきなどの呼吸器症状、吐き気・腹痛・下痢などの消化器症状などがあらわれます。場合によっては、初めの症状があらわれて数分から数分で血圧低下や意識障害などのショック症状を起こし、生命に危険が及ぶ状態になることもあります。息苦しきやショック症状があらわれた場合は救急車を要請するなど緊急に医療機関で治療を受ける必要があります。

アドレナリン自己注射について

アナフィラキシーを経験した人は原因物質との接触や体内への摂取を避けるとともに、必要に応じて医師がアドレナリン自己注射を処方します。アドレナリンは人の副腎髄質から分泌されるホルモンで心臓の働きを強めたり、末梢血管を収縮させたりして血圧を上げる作用や気管・気管支など肺への空気の通り道を広げる作用があります。

アドレナリン自己注射はアナフィラキシーの症状の進行を一時的に緩和し、血圧低下や意識障害などのショック症状を防ぐ補助治療剤です。補助治療剤であるため自己注射後は直ちに医療機関で治療を受ける必要があります。

自己注射のタイミングはアナフィラキシーの経験や初期症状が参考となります。ショック症状を起こす前に投与することが効果的です。典型的な初期症状としては、しびれ感、違和感、口唇のむくみ、気分不快、吐き気、嘔吐、腹痛、じん麻疹、咳込みなどが挙げられます。しかし、症状は人それぞれに異なることがあるため、医師の指示に従いアナフィラキシーの症状や徴候があると感じた時に注射します。小児ではアナフィラキシーの症状が明確でない場合や症状を正確に訴えることができない場合があります。何となく不機嫌、元気がない、寝てしまうなどが初期症状であることもあるので注意深い観察が必要となります。

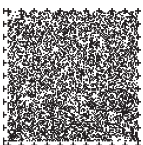
アドレナリン自己注射の副作用としては動悸、頭痛、ふるえ、高血圧、吐き気、熱感、発汗などが起こることがあります。

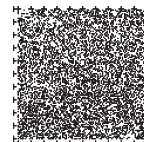


アドレナリン自己注射用キット製剤

アドレナリン自己注射は、使用方法、保管方法、副作用や誤投与のリスクなどについて医師、薬剤師から十分な説明を受け、アナフィラキシー発生時には適切に使用できるように準備しておくことが大切です。ご不明な点がございましたら医師、薬剤師などの医療従事者にご相談ください。

横浜市立大学附属病院 薬剤部 若杉 正





誤嚥性（ごえんせい）肺炎と口腔ケア

肺炎は日本人の死因で上位にランクされており、90歳ともなれば心疾患に次いで二番目に入ります。肺炎にはいくつかの種類がありますが、今回はその中のひとつである「誤嚥性（ごえんせい）肺炎」について説明いたします。

人は口から物を食べたり飲んだり、また口や鼻で呼吸をしています。通常は口の中で咀嚼された食べ物は食道から胃に、呼吸により空気は肺に入っていきますが、高齢者や脳卒中後遺症などの機能障害のある患者さんでは、その機能が低下し、食べ物が気管に入ってしまうことがあります。これを「誤嚥（ごえん）」と言います。皆さんも食べ物などが気管へ入ってしまい、ゴホッ、ゴホッとむせる「誤嚥」のご経験があるかと思えます。このように、異物が気管より肺に入ること



で起こる肺炎のことを「誤嚥性肺炎」と呼びます。高齢者肺炎の最大の発症要因は誤嚥で、特に70歳以上の肺炎の6割はこの誤嚥が関与しているとも言われています。

誤嚥性肺炎は食事だけでなく、自らの「唾液」の誤嚥によっても生じます。ただし、誤嚥性肺炎の原因は唾液ではなく、「唾液に含まれる口の中の細菌」なのです。口の中には無数の細菌がおり、これはどんなに歯ブラシをしてもゼロになることはありません。しかし、ブラッシングにより口の中の汚れ、歯に付着した汚れを除くことで有害な細菌の数を減らすことが出来、このことを【口腔ケア】と言います。口腔ケアは、誤嚥性肺炎を防ぐために、とても重要です。

一般的に要介護者の口の中は汚れやすく、自分では汚れを落とすににくい状態になっています。口から食事を摂らなくても、口の中の清掃は必ず行うことが必要です。

口腔粘膜、舌の清掃、義歯の清掃などを介護者が行う場合、まずは看護師や歯科医師、歯科衛生士から指導を受けてから行うことをおすすめいたします。あわせて、必要に応じて医療従事者による専門的口腔ケアも大切です。

口腔ケアは、口腔清掃だけではなく、広い意味では加齢や病気によって衰えてきた口の機能のリハビリなども含みます。口腔ケアを行うことにより口腔周囲の組織が刺激され嚥下（飲み込むこと）機能も良くなることも期待できます。

口腔ケアの目標は生活の質の維持・向上にあり、本来人間が持っている自然な機能を継続させ、肺炎の予防と、可能な限り「安全に口から食べる」状態に持っていくことにあります。

けいゆう病院薬局 林 誠一



～県病薬ホームページのご案内～



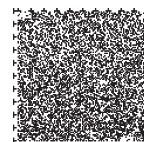
当会では薬剤師や薬学生のほか、一般市民の方を対象としてホームページ上でさまざまな情報を提供しています。

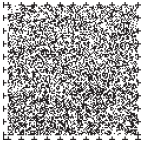
- ・本誌バックナンバー、禁煙支援に関すること
- ・不正な大麻・けしの撲滅運動について
- ・研修会・講習会のお知らせ（薬剤師、薬学生向け）
- ・病院薬剤師求人情報（薬剤師、免許取得見込者向け）



大麻（マリファナ）

詳しくは神奈川県病院薬剤師会ホームページ
<http://www.kshp.jp/> をご覧ください



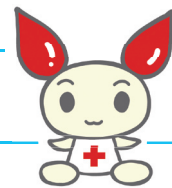


献血に影響する医薬品

献血とは、病気やけがで輸血を必要とする患者さんのために自発的に血液を提供することです。原則として、当日に薬を服用している場合でも献血は可能とされていますが、薬の種類や服用期間によっては献血ができない場合もあります。

下の表にそれらをまとめてみました（成分献血の場合は除く）。

	医薬品（例）
当日服用してよいもの	漢方薬、ビタミン剤、健胃剤、整腸剤、高血圧治療薬、更年期障害治療薬、緩下剤、高脂血症治療薬、他
当日服用してはいけないもの	睡眠薬、鎮静剤、他
前日まで服用していて当日問診が必要なもの	消炎酵素剤、高尿酸血症治療薬、他
服用中止から3日以上経っていて、当日問診が必要なもの	風邪薬、鎮痛剤、抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、止しゃ薬、喘息治療薬、他
服用している場合、原則として献血できないもの	糖尿病治療薬（インスリン、経口血糖降下剤）、狭心症治療薬、抗不整脈薬、抗血栓薬、腫瘍用薬、他



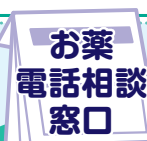
※大阪府赤十字血液センターより抜粋・改変

上記のほか、予防接種後についても一定期間献血はできなくなります。

これらは献血をされる方と輸血を受けられる方、双方の安全を担保するために設けられている目安であり、実際に献血が可能か否かは薬の種類だけでなく、体調や服用目的、症状等を考慮して、検診医が最終的な判断を行います。

現代の医療においては、血液の機能を完全に代替できる薬がないため、輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うために献血が必要です。皆さんもぜひこの機会に献血を検討されてみてはいかがでしょうか。

川崎幸病院 薬剤科 勝亦 秀樹



当会では病院薬剤師がお薬に関する様々なご相談を受け付けています。
（お一人あたり15分程度、無料）

〈受付時間〉平日の10時～17時（12時～13時除く）

- ・薬の副作用や飲み合わせが気になる方
- ・薬の効能・効果を再確認したい方



お問い合わせ：神奈川県病院薬剤師会 ☎045(761)3345

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡お願いいたします。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

TEL：045-761-3345 FAX：045-761-3347

インターネットアドレス <http://www.kshp.jp/>

